

Living the LOTUS

Buddhism in Everyday Life

12
2019

VOL. 171



開祖随感

二つの礼拝行^{らいはいぎょう}

法華経には、石を投げつけられよう杖でたたかれようが、一心に相手を拝み続ける常不輕菩薩の礼拝行が説かれています。そしてもう一つ、自分に仇をなす相手をもお師匠さんと拝む「提婆達多が善知識」の礼拝行が説かれます。この二つの礼拝行を忘れずにいれば、信仰者として合格だと思ふのです。

「こうなってほしい」「ああなってほしい」と、自分にとって都合のいいことばかりを願っていると、それがことごとく裏目に出て、いつもしかめっ面でいなくてはならなくなってしまうことが多いのです。あれこれと心配ばかりしていると、その心配したとおりの結果になりがちなのです。

ですから、どんなことが起ころうと、どんな人に出会おうと、「これが自分の修行課題なんだ」と心を決めてしまうのです。

そう心が定まると、自分のほうの都合で、いい悪い、好きだ嫌いだ、と選り好みするのではなく、なにごとも向こうさま次第の考え方ができるようになってきます。やってくるものは、なんでも真正面から受け止めて全力を尽くせばいいのだ、と腹がすわってきます。

(『開祖随感』9, p. 194-195)

Living the Lotus 2019年12月号 (Vol.171)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 齋藤高市

編集チーフ: 鈴木健祐

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によって創立された、法華三部経を所依の経典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

弁を尽くす

立正佼成会会長 庭野日鏡



言葉の力

聖書の「ヨハネによる福音書」は、「初めに言があった」という有名な言葉で始まっています。確かに、言葉を使うことによって、私たち人間の心は成長・進化してきたといえるのではないのでしょうか。

人間が生まれもって授かった心、すなわち「人」としての素朴な感情や意思を、言葉を使ってまわりの人に伝え、コミュニケーションを繰り返すなかで「人間らしい心」が育ってきたということです。

言葉の力はそれくらい大きいわけですが、その一方で、詩人の寺山修司氏は「現代人が失いかけているのは『話しあい』などではなくて、むしろ『黙りあい』だ」と指摘しています。言葉の発達に心の成長が追いつかないのか、あるいは心が退化しているのか、言葉が人を傷つける道具として使われることも多いのです。言葉の力が大きいだけに、多くを語ることよりも、いまは沈黙のうちに自らを省みることのほうが重要なのかもしれません。

では、人よりよい関係を築くために、私たちは何をどのように話し、伝えることが大切なのでしょうか。

富楼那に学ぶ

法華経の「五百弟子受記品」に、説法第一といわれた富楼那に対して、釈尊が「能く其の言論の弁を尽くすものなけん」（富楼那ほど言葉の力を最大限に駆使し、発揮できるものはいない）と称える一節があります。「この人に幸せになってもら





いたい」という一心で教えを伝えた富楼那の言葉は、よほど強く人びとの心に響いたのでしょう。

とはいえ、その伝え方はといえば、^{きょうてん}経典によると「人びとの心に喜びを与え」「対話する相手一人ひとりの受けとめ方をよく理解し」「大切なことをだれにもわかるように」など、人にまねのできないようなことではなさそうです。

「言論の弁を尽くす」というのは、知識や才能にすぐれた人が、立て板に水のごとく話すことではないでしょう。

それよりも大事ななのは、相手の顔が自然とほころぶような^{にゅうわ}柔和な態度で、思いやりをもって言葉を^か交わすことです。そうすれば、おのずから話しかける言葉もやさしくなって受け入れやすいものとなり、それが相手の心に届くということではないでしょうか。相手を思う気持ちがあれば、目の前の人の心情はもちろん、生活環境などにも配慮してふれあうでしょうから、そのときに伝える言葉は、富楼那に負けないくらいの力を発揮するのだと思います。

ただ、私たちにとってハードルが高いと感じるのが、「大切なことをだれにもわかるように」伝えるという部分です。

作家の井上ひさし氏は、言葉の使い方について「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく」と述べていますが、釈尊の時代から現代に至るまで、人にものごとを伝える基本はあまり変わらないのかもしれませんが。

しかし、そうとわかったからといって、仏の教えを伝える布教伝道において「大切なことをだれにもわかるように、やさしく」語ることは、やはり難しく思えます。

そこで、これも作文の書き方に関する井上氏の言葉ですが、「単純に、わかりやすく」「自分にしか書けないことを、自分の文章で」という二つが参考になります。

私たちは、自身の体験であれば自分の言葉で語ることができます。味わった感動や気づきならば、素直に話せます。^{かんべき}完璧な人はいませんから、教えのなんたるかがよくわからなくても、わからないいま、「ありがたい」「うれしい」という気持ちとともに、自分の理解に応じて話すことが、「大切なことをだれにもわかるように」伝えることなのです。

今年、あなたはどのような感動を味わったでしょうか。そして、どんな「大切なこと」を人にお伝えしますか。

(『佼成』2019年12月号)





教えに学んだ怒らない心

バングラデシュ教会
ルモン・ボルア

この体験説法は11月1日に大聖堂で行なわれた
朔日参り(布薩の日)の式典で発表されたものです。

皆さま、お願いいたします。

私は、バングラデシュ教会コクスバザール支部から参りましたルモン・ボルアと申します。

私は1974年にコクスバザールの仏教徒の家庭に生まれました。両親と姉、兄と私の5人家族で、末っ子の私は大変かわいがられて育ちました。私は自由気ままで、兄や姉にわがままを言っては困らせ、欲しいものがあれば手に入れないと我慢できない子どもでした。学生時代は課外活動に打ち込み、仲間たちの人気者でした。学校で目立った存在だった私は、やがてある地元の政治家の目にとまり、その政治家の団体に誘われました。私はその団体に入りましたが、当時、学生が政治活動に関わることは大変危険なことであり、そのためか私はイスラム原理主義団体のターゲットになっていました。

私を身の危険から遠ざけ、またハイレベルの教育を受けさせようと、両親は私をソ連の高校に留学させました。学校があったモスクワは、私にとってまるで別世界でした。ソ連は自然豊かで、想像とは大きく異なり、静かで穏やかな国でした。

ソ連は社会主義国でしたが、宗教による布教伝道は行なわれていました。私はさまざまな宗教から誘いを受けましたが、仏教団体からの誘いは一度もありませんでした。

ある日、友達と一緒にキリスト教の教会を見学しに行きました。教会で聴いた聖職者のお話に感銘を受け、キリストの慈悲を学ぶことができました。

その教会で一人のポーランド人と出会いました。彼

は真の信仰を求めて教会を訪れていました。私が仏教徒であることを伝えると、彼は仏教について質問してきました。

しかし、私はそれまで仏教について真剣に学んだことがなかったため、彼の質問に何も答えることができませんでした。私はその場にいたたまれなくなり、「用事があるので、すぐに寮に戻らなければ」と言って、逃げように彼の前から立ち去りました。後日再び会ったときも、同じような言い訳をして寮に逃げ込みました。仏教をしっかりと学んでいれば、信仰を求める彼に仏さまの教えを伝えて心の支えになれたのではないかと思います。彼の前から逃げてしまったことをずっと悔やみ続けました。

その後、留学を終えて帰国するまで、私はソ連の国内に仏教教会がないか探しましたが、残念ながら一つも見つかりませんでした。しかし、留学中のこうした体験がなければ、私は開祖さまが教えてくださっている真の仏教に巡り合うご縁はいただけなかったに違



大聖堂で説法するボルア氏

いありません。私にとって佼成会との出会いは、人生最高の奇跡だと思っています。

佼成会に出会うまで、私は仏教徒の家庭に生まれたというだけで、本当の意味の仏教徒ではありませんでした。バングラデシュはイスラム教の国ですが、仏教も政府の認可を得ており、学校でも仏教について学ぶことができます。しかし、私にとって仏教は、仏さまにお祈りをして、試験で良い点をとるためのものでしかありませんでした。

私は十代の頃、仏教徒のお祭りのポンヤ祭(ランタン祭り)が大好きでした。私はサングラスをかけ、クールな服と高価な靴で身を固め、お寺に行って仏さまに手を合わせたあと、女の子たちと遊びました。

私は地元で行なわれる大きな仏教行事には必ず参加していました。母からは「仏さまの教えを聞くと徳をいただける」と教えられ、それがいつも頭の中になりました。また、悪いことをすれば地獄に落ち、いいことをすれば天国に行けるとも教えられました。

子どもの頃、嘘をついてしまうことが多かった私は、悪いくせを直したい一心で仏教の集まりに参加しました。しかし、そうした行事に参加しても、ただ僧侶のお経を聞くだけで、私はお経の意味もわからないまま、まわりの人たちと一緒に「シャドウ!シャドウ!シャドウ!(ベンガル語で「すばらしい」の意)」と唱えるだけでした。2時間の行事が5~6時間に延びることも珍しくありませんでした。それでもいったん参加したら、行事が終了するまで座っていなければなりませんでした。途中で退席すると大きな罰を受けると言われ、私はそれから仏教が嫌いになり、行事には一切参加しなくなりました。

やがて仏教への嫌悪感が薄れてきた頃、親戚のボビー・ボルアさんに導かれて佼成会の集まりに参加しました。私は新たな気持ちで活動に参加し、お役に励みました。しばらくして、私は支部青年部長のお役を拝命しました。

学んだ教えを人さまにお伝えすることは、私にとってチャレンジでした。上座部仏教の伝統を引き継ぐ社会のなかで、人々に開祖さまの一乗の教えをお伝えしていくことは大変困難でした。そこで、私は青年たちにターゲットを絞りました。青年たちは心が純粹で、私の話を素直によく聞いてくれました。コクスバザールの4人の青年たちと一緒に、村から村へ、山々を越えて布教に歩きました。やがて、各地に誕生した青年たちの拠点は、2年間で大きなネットワークに発展し、青年部活動にとって大きな力となりました。

その頃、バングラデシュ教会の有富教順前教会長さんから「1万人の青年結集大会を開催しましょう」と声をかけられました。私にはとても不可能なことに思えたため、即座にお断りしました。すると、カンチャン・ボルア総務部長さんが「私たちがついていけるから大丈夫ですよ」と言ってくくださったのです。有富教会長さんの真剣な顔を見て、私は結集大会の開催を決意しました。そして、光祥さまを大会の来賓としてお迎えしようという教会長さんの言葉を聞き、さらに心が奮い立つのを感じました。

ところが、青年結集大会に向けていざ準備を始めると、準備の邪魔をする人が現れました。多くの障害が立ちちはだかり、私は身の危険を感じることもありました。昔の仲間が、私の立場を羨んで大会の実施を妨害しようとしたのです。私はそのことで何度も腹を立

て、悲しい思いをしました。そのたびに私を救ってくださったのは有富教会長さんの言葉でした。教会長さんは「世の中で一番むずかしいのが布教なんですよ」と優しく言葉をかけてくださり、お釈迦さまが教えをお説きになったときも多くの困難に出会われたことや、開祖さまが世界宗教者平和会議の開催に向けて、諸宗教者の協力を得るために世界中を回られたときも、想像もつかないほど多くの困難に直面されたことを教えてくださいました。

「この世は苦しみ、悲しみに満ちている」とお釈迦さまはお説きになりました。私たちの社会には、自己中心で、悪口を言って他人を傷つけてばかりいる人もいます。しかし、泥の池に蓮が美しい花を咲かせるように、苦に満ちた社会だからこそ、仏さまの教えによって人々をお救いしなければならぬことに思いが至ったとき、「自らが蓮の花になる」ことの大切さに気づかせていただくことができました。

ある日、カンチャン総務部長さんが「あなたはたくさん徳分を具えていますね。でも怒りの心があると、その徳の芽が出てきませんよ」と教えてくださいました。私は部長さんの言葉を真摯に受け止め、その言葉を何度も心の中で反芻しました。すると、それまで自分の敵だと思って昔の仲間に向けていた怒りが収まり、本当の敵は私自身の怒りの心だったことに気づいたのです。

そして、準備を始めてから6カ月後、コクスバザールで無事に青年結集大会を実施することができました。蓋を開けてみれば、1万3千人もの青年が参加してバングラデシュ史上最大の仏教青年の大会となり、立正佼成会の名前が全国に知れ渡りました。また大会

をとおして、多くの青年リーダーが生まれました。私はこの大会から本当に多くのことを学ばせていただきました。

開祖さまは「自分が変われば相手が変わる」と教えてくださいました。私自身が変われたのは「常不軽菩薩品」の教えのおかげさまで。布教実習のために来日し、東京の練馬教会で修行させていただいたことです。練馬教会の加瀬泰子支部長さんと一緒に、飛びこみ布教に歩きました。『佼成』と『躍進』を携えて未会員のお宅を何件も訪ねて回りました。インターフォンを押して名乗っても、無視されるかお断りされることがほとんどでした。「宗教はけっこうです。いま忙しいんです!」と、強い言葉で断られたこともありました。私の心は落ち込みました。

昼食のとき、私は加瀬支部長さんに「たくさんの人たちに無視されたり断られたとき、支部長さんは悔しかったり悲しくなったりしませんか?」と質問しました。すると支部長さんは、人に笑われたり石を投げられたりしながらも仏性礼拝行に徹した常不軽菩薩さまのお話を私にしてくださいました。そして「飛び込み布教の目的は、教えをお伝えすることだけではありません。自分の心を清めることも、この修行の目的の一つです。飛び込み布教では、私たちは人さまから疑いの目で見られたり、皮肉を言われたりすることもあります。それに耐えながら、人さまと教えを分かち合い、苦しんでいる人がいればその苦しみを和らげてあげられる人になるように努力しているのです。そして、その行を通してエゴや怒りなど、自分の心の汚れを清めていけるように修行しているのですよ」と教えてくださいました。

実は、私には強いエゴと怒りの心がありました。常

不軽菩薩さまについて教えていただいたから、私は少しずつ自分の心を調えることができるようになりました。コクスバザールの集まりでは、有富教会長さんが、私がよく怒りをコントロールできるようになったとお話してくださいました。いまでも完璧に怒りをコントロールできるわけではありませんが、過去の自分と比較すると変化を実感することができ、以前ほど怒らなくなった自分を誇りに思えるようになりました。

サンガの皆さまのおかげさまで、教えに照らして自分自身を見つめ直すことができるようになりました。また、仏教は智慧の教えであることを学ばせていただき、いまは三帰依文の「當に願わくは衆生と共に、深く経蔵に入って智慧海の如くならん」の一節を心に刻み、日々精進させていただいております。おのれの心

を清め、家庭、社会、国家、世界の平和の実現に向けて、一生この身を捧げていくことをお誓い申し上げ、私の説法とさせていただきます。

皆さま、ありがとうございました。



諸宗教協力活動に参加するボルア氏(前列中央)

法華三部經

各品のあらましと要点

妙法蓮華經

提婆達多品第十二（前半）

前の《けんほうとうほんだいじゅういち見宝塔品第十一》において、〈人間の本質はぶっしょう仏性である〉という大事実が明らかにされました。とすれば、当然「自分の本質は仏性である」と悟るのが、ほんとうの人間として完成する第一の道であり、最高の道であることとなります。まったくそのとおりであって、その悟りを完全に成就した人が、すなわち仏にほかならないのです。

従って、どんな人間でも、たとえ世間でつまはじきにされる悪人であろうと、十分な教育も受けていない幼子であろうと、自分の仏性を完全に自覚し、確信することができさえすれば、たしかに仏になりうるのです。

仏性自覚の教えをそこまで発展させたのが、この《だいばだつたほん提婆達多品》であります。この品は、大きく分けて二つの部分から成り立っています。第一の部分がいわば〈悪人成仏〉、第二の部分がいわば〈女人成仏〉を説かれたものです。

悪人成仏

先ず、お釈迦しゃかさまは、ご自分の前世の物語をなさいます。前世におけるお釈迦さまは、長いあいだ国王の地位にあられましたが、その安楽な暮らしに満足せず、真実の教え（妙法）を求め続けておられました。そして、その教えを得るためには、自己の生活のすべてを犠牲にしてもかまわないとお考えになっていました。そして、ついに「世のすべての人を救う教えを説いてくれる人があれば、わたしは一生

涯その人に仕えて、身の回りの世話をするであろう」という御触れを全国に出されたのです。

しばらくすると、一人の仙人がやってきて、「わたくしは、世のすべての人を救う妙法蓮華という教えを知っています。もし王さまが御触れのとおりのご事をなさいますなら、必ず説いてさしあげましょう」と申しました。

王は、即座にその仙人に仕えました。木の実を集めてきたり、水を汲んだり、生活万端の世話をしたばかりか、地べたにうつぶせになって師の仙人の腰かけになるということまでしたのです。そういう努力をしながら、その最高無上の教えを聞くことができたのです。お釈迦さまはこの話をなさって、「わたしが仏の悟りを得たのは、前世のそうした修行が大きな遠因となっているのですが、実はその仙人というのは、あの提婆達多の前世の身にほかならない



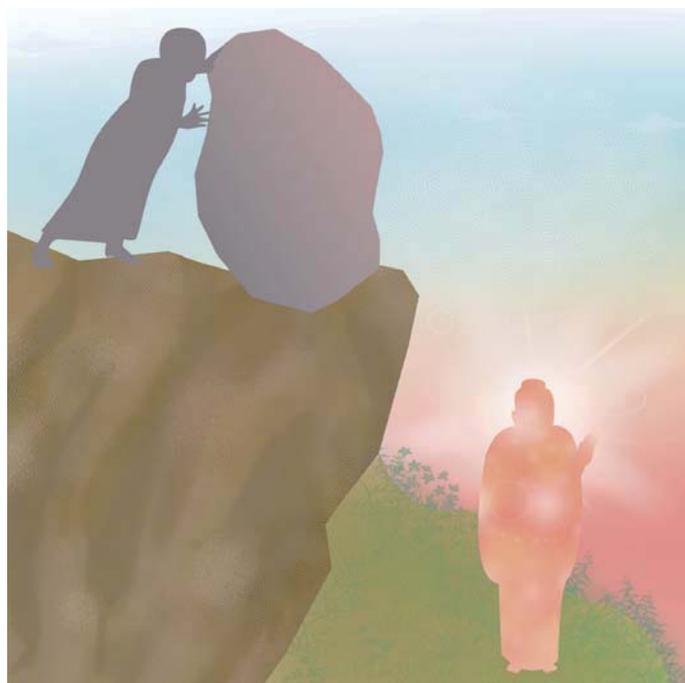
のです。つまりわたしは、提婆達多という善知識(善い友人)をもちえたおかげで、こうした仏となり、広く衆生を救うことができるのです」とおおせられました。しかも「提婆達多は、これから後、長いあいだ修行することによって、必ず仏となるであります」と、成仏の保証まで与えられたのです。

提婆達多というのは、お釈迦さまとは従兄弟同士の間柄で、お弟子の中に加わっていたのですが、頭はよかったのに心がひねくれていたために、ことごとく反抗するようになり、教団の和合を破り、ついにはお釈迦さまのお命まで奪おうとした悪人でした。そういう大逆罪を犯したものを、ご自分の善い友人であるとか、そのおかげで仏の悟りを得たとか、必ず仏の悟りを得るであろうとかおおせられますので、一同は大きな驚きと、不思議な感銘を受けたのであります。

徹底した感謝の精神

お釈迦さまは、なぜ前世の物語にことよせて、〈提婆達多が善知識に因る〉とおおせられたのでしょうか。それは、お釈迦さまのような澄みきった心の持ち主ともなれば、よいこともわるいことも、すべてが悟りの因となるからです。それゆえ、天地の万物に対し、身の回りに起こるすべての事柄に対し、ご自分の悟りを助けてくれるものとして、自然と感謝のお気持ちをもたれるのです。

この〈よい出来事も、わるい出来事も、すべて悟りを深める因として受け取り、それに感謝する〉という徹底したご精神は、われわれが深く学ばなければならないところであります。そして、これがこの品の前半の要点の第一であります。



また、なぜ提婆達多のような悪人にも成仏の保証を与えられたのでしょうか。たとえ今世における提婆達多の悪事が、お釈迦さまのお悟りを深める因となったからとて、本質的には何も提婆達多の功績ではありません。提婆達多の〈悪〉が、それによって帳消しにされるものでもありません。ですから、提婆達多に対する〈感謝〉と〈授記〉のあいだには、なんらの関連はないのです。

お釈迦さまは、前から繰り返してお説きになってこられた〈すべての人間は平等に仏性をもっている〉という真実を、人びとがアッと驚くような劇的な形をとって、人びとの胸に強く印象づけるために、突然提婆達多の例を持ち出されたのです。

まさしく、万人を仏性の自覚へ導くための、お釈迦さまのあざやかな方便だったのです。

(庭野日敬著『法華三部経 各品のあらましと要点』
佼成出版社, 2016年〔初版 1991年〕, p. 121-126)

感謝と感動をたくさん伝えよう!!!

12月を迎え、2019年も間もなく幕を閉じようとしています。皆さまにとって、この一年はどんな年だったのでしょうか？

今年を振り返ると、「全米布教60周年記念サンガの集い」が行なわれ、ハワイ、ロサンゼルス、サンフランシスコ各教会ではそれぞれの周年をお祝いしました。ご本尊勧請や教師拝受を通じて、多くの菩薩が誕生しました。そして今月、初めて教師現地拝受式がバンコクで行なわれます。南・東アジアでは、リーダー育成教育や青年リーダー練成会が開かれました。全世界で、法華経を学ぶ研修会やセミナーが熱心に開催されました。全米日本語幹部教育では、み教えに出遭えた喜びを一人ひとりがかみしめました。

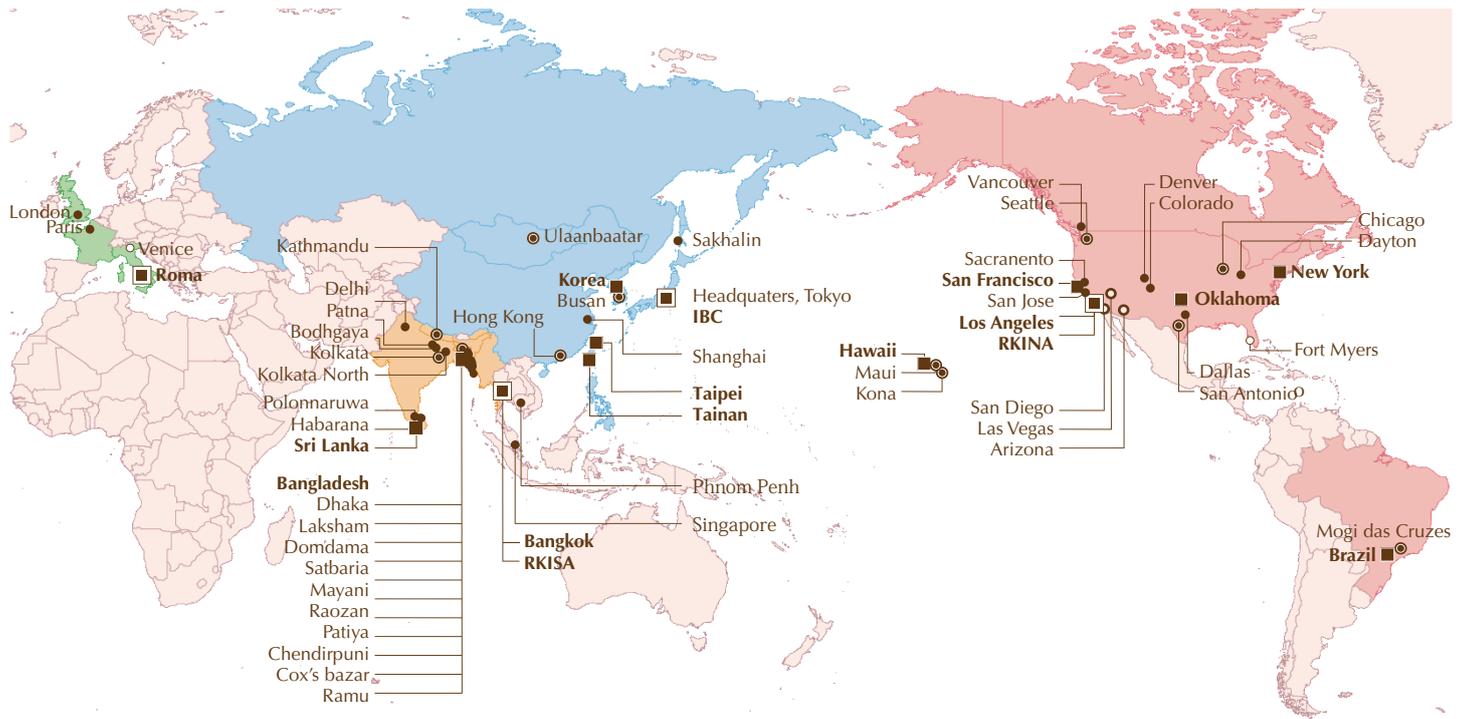
数えきれないほどたくさんの感謝と感動を味わった一年ではなかったのでしょうか？それぞれにこの一年の功德と精進を振り返り、その喜びを一人でも多くの方々にお伝えさせていただきます！

国際伝道部長
齋藤 高市



✉ Living the Lotus では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。
お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。
E メール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA
 TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633
 Email: info@rkhawaii.org URL: <http://www.rkhawaii.org>

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA
 TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA
 TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA
 POBox 33636, CA 90033, USA
 TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567
 Email: rk-la@sbcglobal.net URL: <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas**

Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA
 POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA
 TEL: 1-650-359-6951 FAX: 1-650-359-6437
 Email: info@rksf.org URL: <http://www.rksf.org>

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

- Rissho Kosei-kai of Sacramento**
- Rissho Kosei-kai of San Jose**

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA
 TEL: 1-212-867-5677 Email: rknny39@gmail.com URL: <http://rk-ny.org>

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA
 TEL: 1-773-842-5654
 Email: murakami4838@aol.com URL: <http://rkchi.org>

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: <http://www.rkftmyersbuddhism.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA
 POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA
 TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303
 Email: rkokdc@gmail.com URL: <http://www.rkok-dharmacenter.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago St. #809 Denver, CO 80204, USA
 TEL: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA
 URL: <http://www.rkina-dayton.com>

The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA
 TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-262-4437
 Email: info@rkina.org URL: <http://www.rkina.org>

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA
 (Mail) POBox 692042, San Antonio, TX 78269, USA
 TEL: 1-210-561-7991 FAX: 1-210-696-7745
 Email: dharmasanantonio@gmail.com
 URL: <http://www.rkina.org/sanantonio.html>

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA
 TEL: 1-253-945-0024 FAX: 1-253-945-0261
 Email: rkseattlewashington@gmail.com
 URL: <http://buddhistlearningcenter.org>

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil
 TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377
 Email: risho@rkk.org.br URL: <http://www.rkk.org.br>

Facebook: <https://www.facebook.com/rishokosseikaidobrasil>
Instagram: <https://www.instagram.com/rkkbrasil>

Risho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP, CEP 08730-000, Brasil

在家佛教韓國立正佼成會

〒 04420 大韓民國 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

在家佛教韓國立正佼成會釜山支部

〒 48460 大韓民國釜山廣域市南區水營路 174, 3F
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

社團法人在家佛教立正佼成會

台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongheng District, Taipei City 100, Taiwan
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

台南市在家佛教立正佼成會

台灣台南市崇明 23 街 45 號
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488
Email: koseikaitainan@gmail.com

Rissho Kosei-kai South Asia Division

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai of Kolkata

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059, West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center

Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rumpur, Gaya-823001,
Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center

Rissho Kosei-kai of Central Delhi

77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,
New Delhi 110060, India

Rissho Kosei-kai of Singapore

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh

W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,
Phnom Penh, Cambodia

RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Bangkok

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei Dhamma Foundation

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa

Rissho Kosei-kai Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
TEL/FAX: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai Mayani

Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Damdama

Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Patiya

China Clinic, Patiya Sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Satbaria

Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Chendhirpuni,

Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai Dhaka

408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Laksham

Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Cox's Bazar

Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Cox's Bazar, Ramu Shibu

Rissho Kosei-kai Raozan

Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Buddiyskiy khram "Lotos"

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia
TEL: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoro-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia

(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia

TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Erdenet

2F Ikh Mandal building, Khurenbulag bag, Bayan-Undur sum,
Orkhon province, Mongolia

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia
TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Rissho Kosei-kai of the UK

Rissho Kosei-kai of Paris

Rissho Kosei-kai of Venezia

Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)

166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan
TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: <http://www.ibt-rk.org>